

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	NewStep大阪2nd吹田青葉丘教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員に対する学びの機会の提供 (定期的な研修機会の確)	法人内児童福祉部や姉妹教室とも連携を図っている各種委員会にて計画的な研修準備、研修実施を行っています。委員会とも連携を図れている事により、その時々課題や議題に上がっている事項について、研修議題として掲げる事により、知識の周知、適切な対応手法等の学びの機会を確保しています。	必要に応じて事業所に通所されているお子様に関して気になる部分等（それぞれのお子様にも関わる細かい部分）についても、研修機会を設けることで、より良い療育へと繋げていけるようにしていきたいと考えています。
2	工夫した活動プログラムの提供	主となる運動活動に関して、同じような内容とならないように、それぞれの職員の長所を活かしたプログラム作成を毎日行っています。また、その日に通所されるお子様の持つ課題等に沿ったプログラムを毎回意識して組み立てています。	お子様のやる気や積極性、また自己肯定感を更に向上していけるよう、プログラムだけでなく取り組みの中での空気感等の環境面や、お子様の発達段階に合わせた種目等、工夫を重ねて、楽しい、メリハリのある活動を目指していきます。
3	適切な職員配置	各法令やガイドライン等にて示されている基準に沿った職員配置を行っています。職員に対しても、上記研修計画に則り、資格取得も進める事で職員配置、また質の向上にも寄与しています。	引き続き計画的な研修機会を確保する事で、職員配置だけでなく、職員の質の向上にも繋げていけるよう、また全体へ広げていけるよう取り組みを続けていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との連携面の強化	アンケートではそこまで指摘を受けている部分ではありませんが、更に充実を図りたい項目であると考えています。日々の報告面や情報共有等、さらに意識を高めていきたいと考えています。	送迎時の引き渡しの場面や電話等のやり取りだけでなく、定期的な面談機会の提案も含めて、更に機会の提供を行えるようにしていき、お互いの情報共有を更に深めていきます。
2	職員間での情報共有	情報の共有は行えている部分ではありますが、細かい部分についての共有について上手く周知出来ない部分があります。出勤日が固定でない職員等について、特に見受けられる部分でもあります。	事業所として、情報の共有意識の向上について、継続して取り組んでいきます。また、引き続き連絡ノート等の活用を行い、職員全員に周知を図れているか、確認を行ってまいります。
3	情報発信機会の確保	事業所より会報を保護者へむけて定期的に発行しているが、期間が開いてしまう事がある。その為、事業所に関する情報について、周知漏れに繋がる可能性が考えられます。	定期的な会報作成、配布に向けて事業所内で準備を進め、体制を整えていきます。その中で、事業所に関する情報提供、周知報告も含めた内容作成を進めていきます。